5・14～16沖縄闘争へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2016年５月９日
No.385

Tel　03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

沖縄大学学生自治会からの現地報告！

【５月６日】

４年生の沖縄出身の女子学生と討論になりました。彼女は父と兄が自衛隊員で、安保関連法の強行採決で「戦争が起きようとしている」と実感したと言っていました。昨年８月にデモに初参加し、「過激だ」と思ったそうです。

彼女は自分のサークルで、リーダー的に学習会などを行っています。デモや辺野古現地に行った感想で、「辺野古で抗議する人たちは逮捕も辞さずにすごいが、無責任なんじゃないか」とも言っていました。大学内で友だちと、「選挙で誰に入れるか」の話になっているらしく、鈴木たつお弁護士と斎藤いくま委員長の話をしました。

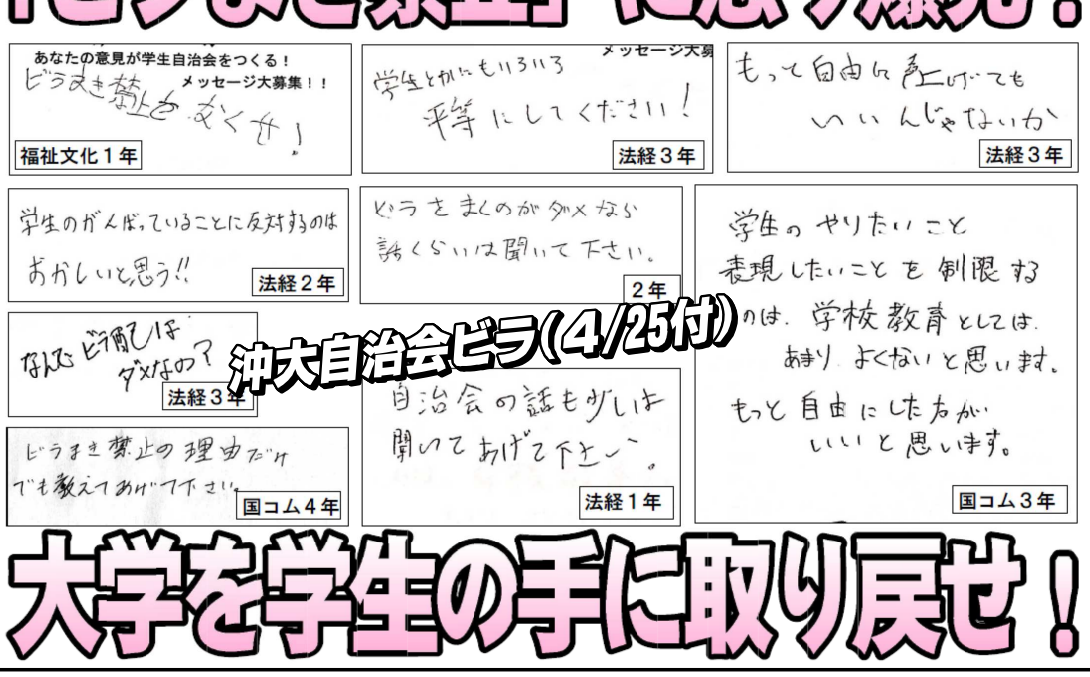
沖大学生自治会や全学連については、「活動家って暗いと思ってたが、こんな明るいとは思わなかった」と言っていました。14～16日の結集はドンドン決まりそうです！

【５月７日】

７日の『琉球新報』記事で、「沖縄への核持ち込みは権利だ」と米国防省発行の歴史記録書に書かれてあることが暴露されました。「米国は危機の際にそれら（核）を再持ち込みする権利を維持した」と明記しています。第三次世界大戦が、沖縄から核戦争として始まろうとしています。

翁長知事は９日に上京し、菅官房長官ー島尻沖縄担当相と会談する予定です。政府が取りまとめる経済財政指針『骨太方針』に、沖縄振興策や沖縄の子ども貧困対策を入れると言っています。非正規職の割合は、15～24才男性で全国43．７％に対し、沖縄は66．７％です。女性は具体的数値がなく、「全体的に多い」としか書かれていません。まさに沖縄で、翁長知事の進める「振興策」が非正規職化と貧困を生み出し、沖縄を先頭に安倍政権が核戦争にのめり込む構図がはっきりしてきました。「大学が潰れてもいいのか！」と開き直って新自由主義大学化を進めるエセ「リベラル」教授の化けの皮をはがし、沖縄学生の怒りに転じよう！　５月沖縄現地闘争へ！

「ビラまき禁止」に怒り爆発！



7月参院選で鈴木たつお弁護士必勝を！

～新しい労働者の政党をつくろう！～

◆川内原発いますぐ止めろ！

◆改憲・戦争絶対反対！　派遣法撤廃、非正規なくせ！

【第二東京弁護士会所属・元日放労（ＮＨＫ労組）長崎分会委員長・法大学生弾圧裁判弁護団長】

【左：沖大自治会ビラ（4月25日付）より抜粋】沖大は「経済的徴兵制」に加担するのか・・・文科省では「奨学金延滞者は自衛隊に」という議論が行われ、「忍び寄る経済的徴兵制の不安」という記事にもなっています。高い学費のためにバイト生活に追われ、多額の奨学金を背負う沖大生自身が、「経済的徴兵制の不安」を日々抱いています。本来は未来をつくるはずの教育が、いまや学生や家族をもうけのタネにし、未来を奪うものになっています。沖縄大学は、それでも飽き足らないのか、自ら自衛隊を招き入れ、「就職支援」を語って学生を戦場に送り出そうとしているのです。これが沖縄戦の焦土から出発した大学のやることか！

自衛隊への勧誘説明会を中止しろ！

４月21日に防衛省が本館２階大会議室で自衛隊の学内説明会を行うことが明らかになりました。３月29日に安保・戦争法が施行され、自衛隊の武力行使＝戦争が「合法」とされる中、説明会は、沖大生を勧誘して戦場に連れていくためのものです。絶対に許せません！

沖大学生自治会は、自衛隊の学内説明会の中止を求める申し入れを行います（右下に要項）。是非、多くの沖大生に申し入れ行動に集まってほしいと思います。

沖大は「経済的徴兵制」に加担するのか

安保法への不安から若者の自衛隊志願者が減る中で、文部科学省では「奨学金延滞者は自衛隊に」という議論が行われ、「忍び寄る経済的徴兵制の不安」という記事にもなっています（写真右）。沖縄大学でも「友達が自衛隊に入った」という学生が多いですが、そもそも高い学費のためにバイト生活に追われ、多額の奨学金を背負う沖大生自身が、「経済的徴兵制の不安」を日々抱いています。

「奨学金ビジネス」と言われるように、本来は未来をつくるはずの教育が、いまや学生や家族をもうけのタネにし、未来を奪うものになっています。さらにそれは戦争に直結しようとしています。沖縄大学は、それでも飽き足らないのか、自ら自衛隊を招き入れ、「就職支援」を語って学生を戦場に送り出そうとしているのです。これが沖縄戦の焦土から出発した大学のやることか！

昨年、宜野湾市と沖縄市が18～27歳未満の約２万４千人分の個人情報を無断で自衛隊に提出していたことが「自治体の戦争協力」として、大問題になりました（写真右下）。これと同様、沖縄大学での自衛隊説明会開催は「大学の戦争協力」そのものです。

しかも、自衛隊が大教室で堂々と勧誘をする一方、当の学生は学内でビラまきも集会も、教室を使った企画すらできなくされています。大学は、反戦集会を理由に自治会執行部である赤嶺君、盛島君を処分し、「自治会と関わるな」「署名に応じるな」「勧誘されたら支援課へ」と学生を分断し、相互監視させています。本当にふざけきっています。沖縄大学は一体だれのための大学なのか！

中止を求める申し入れ行動に集まろう

もうこんなあり方は我慢できません！　沖大生は団結し、大学・教育を学生の手に取り戻そう！　大学を戦争反対のとりでに！　20日の申し入れ行動に是非集まってください！

学費返済 兵役に現実味

忍び寄る経済的徴兵制の不安

安保関連法施行 若者に危機感

厳しさ増す自衛官確保

減り続ける募集人口

4月13日付 沖縄タイムス

自衛隊へ名簿2市提供

宜野湾 沖縄 適齢者情報2.4万人分

昨年10月25日付 琉球新報

自衛隊説明会 中止求め申し入れ行動

4月20日（水）16時20分 学生支援課窓口前に集合

学生自治会執行部会議

4月22日（金）18時半～ 参加希望者は赤嶺委員長まで連絡を

【当面する行動方針】

●5・14～16沖縄現地闘争

５月14日（土）～16日（月） ひめゆり資料館見学、沖縄県民大会参加、国際通りデモ、沖縄大で集会（予定）

●国鉄闘争全国運動6・5全国集会

国鉄1047名解雇撤回！ 改憲ー雇用・労働破壊に反撃を！ ２千万非正規労働者を殺すな！

６月５日（日） 13時～ 江戸川文化センター大ホールにて

【呼びかけ】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動（国鉄闘争全国運動）